

令和7年度鹿屋市指定介護保険サービス事業者集団指導 資料

鹿屋市認知症初期集中 支援チームについて

（リーフレット補足資料）

令和7年10月
鹿屋市高齢福祉課

認知症初期集中支援チームについて

【目的】

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築を図る。

【認知症初期集中支援チームとは】

複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人、その家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの**初期**の支援を包括的、**集中的**に行い、自立生活のサポートを行うチーム。

「初期」

- … ①「認知症の発症後のステージとしての病気の早期段階」
- ②「認知症の人へ関わりの初期（ファーストタッチ）」の意味を持つ。

「集中的」

- … 概ね最長6か月を目安に本格的な介護や医療につなげていくことを意味している。

認知症初期集中支援チームのメンバー



【対象者】

原則40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で、以下いずれかの基準に該当する人。

◆医療サービス、介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する人

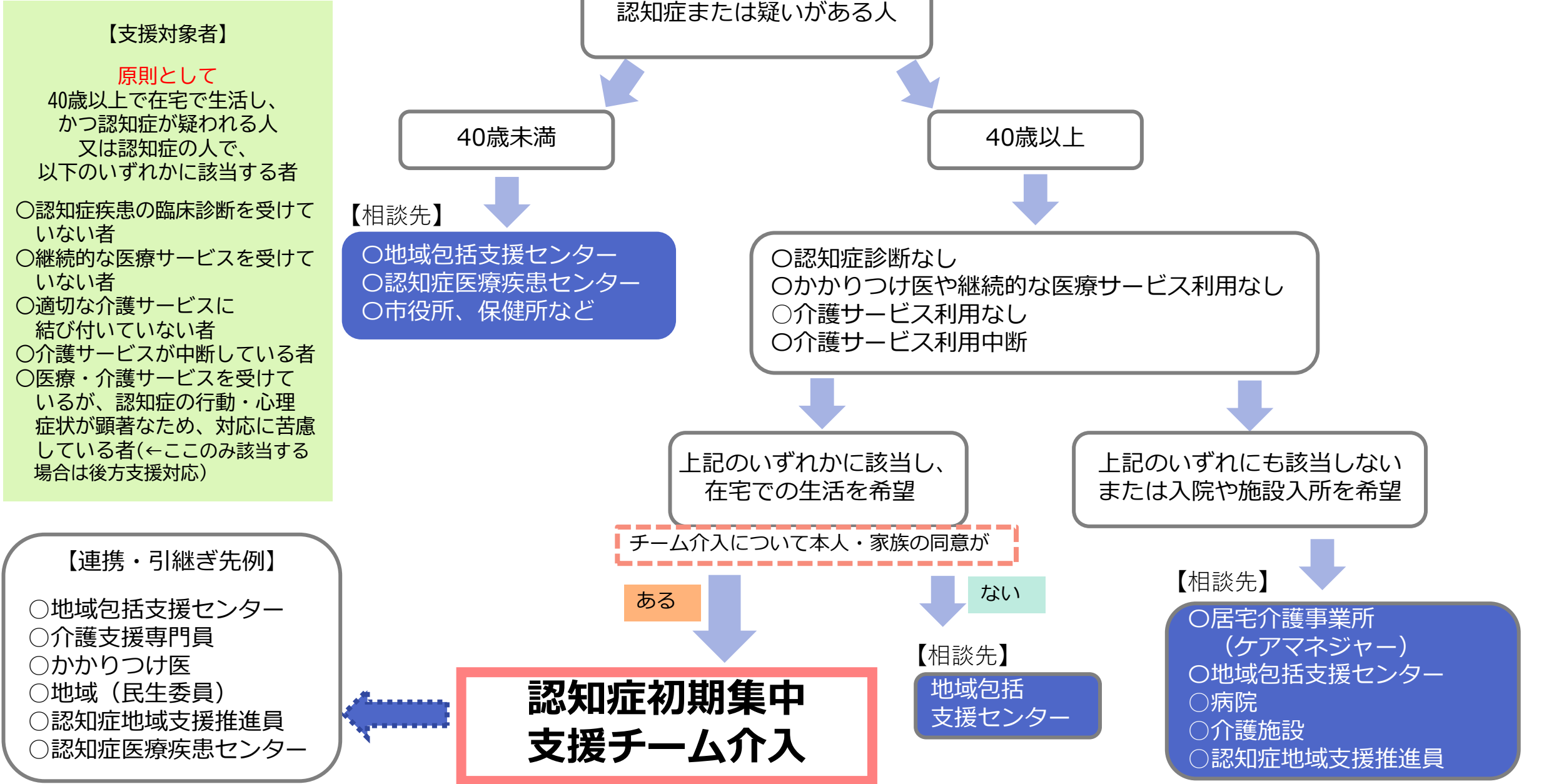
- （ア）認知症疾患の臨床診断を受けていない人
- （イ）継続的な医療サービスを受けていない人
- （ウ）適切な介護保険サービスに結び付いていない人
- （エ）診断されたが、介護サービスが中断している者

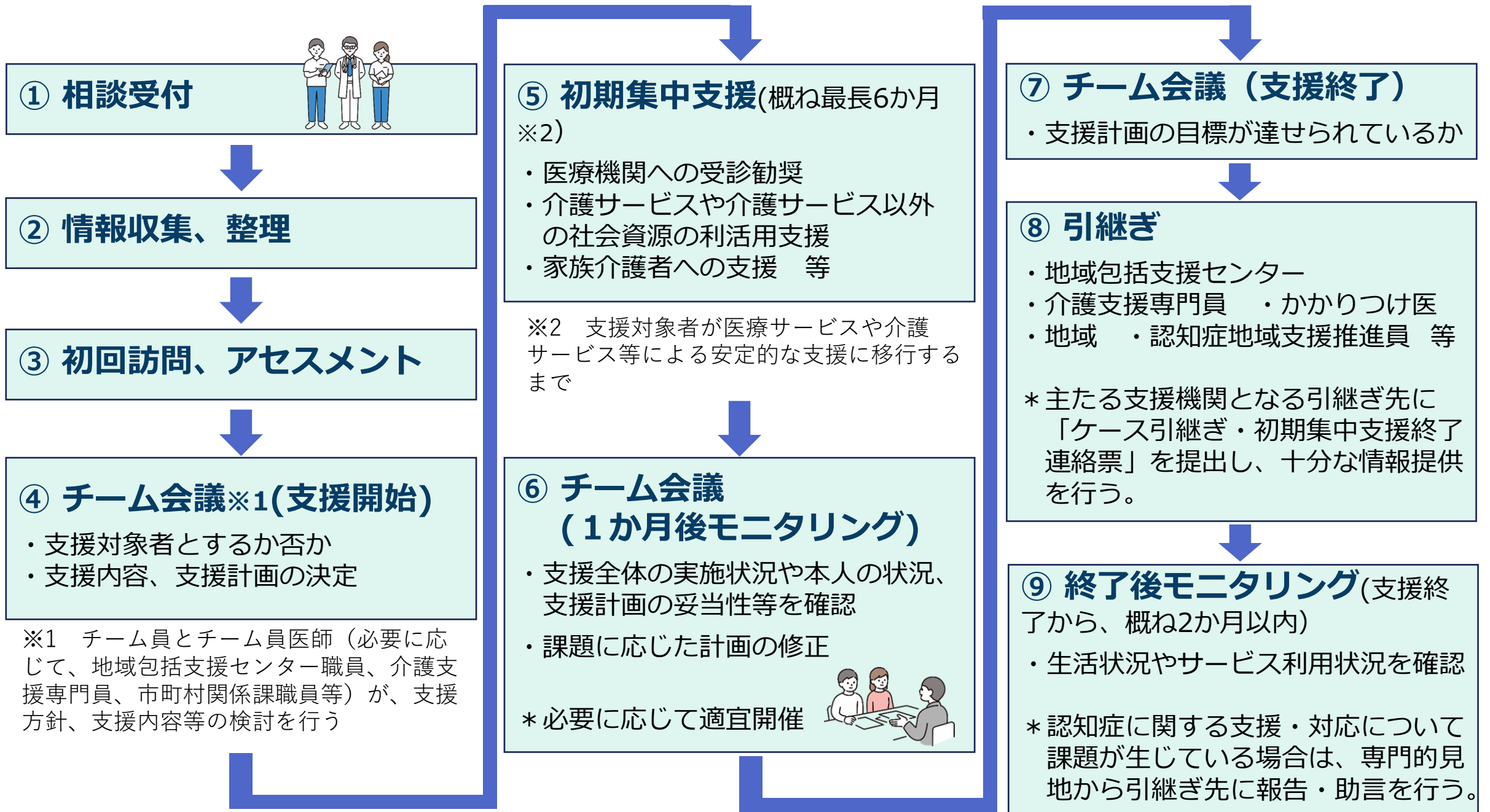
◆医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している人

【鹿屋市認知症初期集中支援チームの体制】（R7.10.1現在）

- ▶ 設置場所 公益社団法人いちょうの樹 メンタルホスピタル鹿屋
- ▶ チーム員 認知症サポート医（メンタルホスピタル鹿屋内）2人、看護師 1人、介護福祉士 1人

鹿屋市認知症初期集中支援チーム対象者 フローチャート





【支援結果の例】

① 医療サービスとのつながり

- ・ かかりつけ医
- ・ 専門医受診
- ・ 訪問看護
- ・ 定期巡回 等

② 介護サービスとのつながり

- ・ 介護認定
 - ・ 介護サービス等の利用
- ＜サービスの例＞
通所介護、訪問介護、
福祉用具利用 等

③ 地域とのつながり



- ・ 民生委員による定期巡回
- ・ 地域サロンへの参加 等

【支援事例】

＜事例＞

介入期間:6ヶ月 訪問回数:32回

女性 80代 独居 ご家族(遠方)はデイサービス利用希望

- ・ 近所の方からの相談で地域包括支援センターが介入
- ・ 地域包括支援センターがご家族へチームの案内を行い、チームによる支援を希望されたためチーム介入
- ・ チーム介入後、専門医受診・介護保険申請
(チーム員は受診同行、介護認定調査立ち合い)
⇒ ◆鑑別診断にてアルツハイマー型認知症、認知症薬処方
→ かかりつけ医にて認知症薬の定期処方
◆要介護認定
- ・ 定期訪問しバイタル測定、服薬管理等関係構築を図る
- ・ ご家族帰省時、介護事業所を見学し契約
- ・ デイサービス利用に対してご本人の拒否が強く利用を断念したが、ヘルパー介入が継続できているため、チームの支援は終了
- ・ 主たる支援機関となる介護事業所に引継ぎを行った